

『命の山王』

No.30 令和6年1月23日(火)

正義の味方「アンパンマン」

今年度も残すところ2ヶ月あまりとなりました。間もなく成長できたところは何か、今後の課題は何かなど、自身の1年を振り返る時期がやってきます。ぜひ、「志」を行動で表すことができたか、についても振り返ってほしいと思います。

話は変わりますが、あるおもちゃの会社が、子どもが好きなキャラクターについてのアンケートを取っています。その結果、10年以上、毎年のように1位をとっているキャラクターがあります。

それは「アンパンマン」です。

アンパンマンには、他のヒーローと違った特徴があります。例えば、「自分の顔を食べさせること」「水に弱いという弱点があること」「敵のバイキンマンを殺すことはせずにパンチで追い払うこと」などです。アンパンマンは、なぜこのようなヒーロー像になったのでしょうか。作者の「やなせたかし」さんは次のように話しています。

「一般的なヒーローは、マント一つ汚さずに飛び去っていく。壊した街も、どうなったのかわからない。そういうヒーローって本当の正義なんだろうか。ひとりぼっちで寂しくて、という人の所には、そういうヒーローはなぜか現れない。いったい誰を助けているんだろう。」

やなせさんのこのような思いからアンパンマンは生まれたそうです。



また、「アンパンマンのマーチ」という歌があります。聞いたことがある人が多いと思いますが、その中に「愛と勇気だけが友達さ」という歌詞があります。この部分を「愛と勇気しか友達がいないなんて寂しいな」と感じる人がいるようです。この歌詞はやなせさんが書いたもので「闘うときは自分一人だと思わなくちゃいけない」という意味が込められているそうです。何か勇気をもって行うときには、仲間を巻き込むのではなく、一人で仲間を守っていく、そういう覚悟が大切だということを伝えているそうです。たとえ自分が困ることになっても、お腹をすかせて困っている人を助け、一人でも戦い抜くアンパンマンだからこそ多くの仲間がいて、子どもから好かれているのだと思います。

マント一つ汚さないヒーローが「見かけの正義のヒーロー」だとすれば、アンパンマンは「本当の正義のヒーロー」だといえます。

やなせさんの思いから考えると、本当の正義とは「困っている人や苦しんでいる人のために、勇気や覚悟をもって行動すること」ではないでしょうか。反対に、見せかけの正義とは「仲の良い人や強い人、自分自身の欲のために、その後のことを考えずに軽率な行動をすること」になるでしょうか。

さて、校内外の清掃活動や整理整頓、竿燈広場の除雪作業、先生や友達・地域の方の手助けなど、みなさんは今年1年、様々な場で「志」を宿した行動をしてきたはずです。その「志」は相手のために勇気や覚悟をもった行動だったのでしょうか。

「友達に誘われて」「先生や親に言われて」と始めた行動でも、その大切さが分かり、自ら進んで行動できるようになったとすれば、それは立派な成長です。「私の行動は、見せかけの志だ」と感じている人は、残りの2ヶ月で「本物の志」を宿せるように努力してください。

〔生徒指導主事：相場記〕